

# 確 認 事 項

- ベンチは組合せ表の左側のチームがオフィシャル席に向かって右側に位置し、ユニホームは淡色を使用する。ただし、ユニホームの濃淡については、両チームの話し合いにより決めてもよいこととするが、着用するTシャツ、アンダーガーマントはユニホームと同系の色でチームメイトと同色、型のものとする。
- 原則、テーブル・オフィシャルは前試合の負けチームが行う。第1試合のテーブル・オフィシャルは第2試合のチームで行うこととする。前半は組合せ表左側のチームが行い、後半は、右側のチームが行う。併せて、試合開始が遅れることのないように、テーブル・オフィシャルに試合終了後速やかにつくようにし、指導者は直接、指導、監督にあたる。
- ベンチには、申込書に記入してあるコーチ、アシスタントコーチ、マネージャー、その他各1名、選手15名以内のみ入ることができ、その他は観覧席等で応援する。(原則としてコーチライセンスを保有し、首からコーチライセンスカードを提げて、立って指揮を執る指導者の名前を「コーチ」の欄に記入する。)   
なお、登録内容(コーチ、帯同審判、コミッショナー、選手)に変更があった場合は必ず1試合前(1時間)に会場主任に報告することとし、了解が得られた場合のみ認められる。(メンバー表の試合前の提出は行わない。)
- 試合時間は 6分(1クォーター) - 1分 - 6分 - 5分(ハーフタイム) - 6分 - 1分 - 6分 とする。但し、「1分」は、1分後に試合開始ができる時間であり、交代等は『速やか』に行うこと。※クォーター間の1分を計測する。
- 試合開始は原則予定時刻で行うが、試合進行が予定より遅れている場合は、前試合終了後10分後にゲームを開始し、試合時間が予定より早く進行している場合は、開始時刻を繰り上げて行うこともあるので次のゲーム関係者は注意しておくこと。
- ハーフタイム(5分)の間、次試合のチームはコートへ出て練習してもよい。ただし、最初の2分間のみとし、経過後は速やかに退場する。
- ベンチでは指揮をとるコーチ以外の関係者、選手は席を立ち続けての応援をしない。
- チーム表示は各チームにおいて『A4サイズ横』で作成し、管理、保管すること。
- 指導者は、必ず1試合(1時間)前には会場に到着し、大会本部に到着したことを報告の上、「コーチ」の変更がある場合には確実に本部に報告する。
10. 審判は、帯同制とする。(ただし、準々決勝以降は連盟派遣による)
  - ・帯同審判員はJBA公認D級審判員以上の資格を有し、且つミニバスケットボールのルールに精通した、審判経験の豊富な方とする。
  - ・帯同審判員のチーム掛け持ちは禁止する。(1人1チームのみ)
  - ・必ず1試合(1時間)前には会場に到着し、大会本部に到着したことを報告の上、試合、相手審判及び施設・器具の確認をすること。
  - ・帯同審判がない場合は、地区主任に相談のうえ、必ず手配すること。
11. コミッショナーは、帯同制とする。(ただし、準々決勝以降は連盟派遣による)
  - ・帯同コミッショナーはJBA公認E-2級以上のコーチライセンスまたはJBA公認B級審判員以上の資格を有すること。
12. 会場準備について  
当該会場で試合をするチームは、会場における設営・撤収について協力すること。(各チーム2名程度)
  - ※ 第1日目の朝日、新湊会場の開場は、「午前8時30分」を予定しており、新湊会場は全チームにて準備を行い、撤収は不要。朝日会場は、準備及び撤収ともに不要(前日準備)。
  - ※ 第2日目の滑川、福野会場には、「午前8時」の開場を予定しており、第1～3試合のチームが準備、第4試合以降のチームが撤収とします。
  - ※ 第2日目の朝日、新湊会場については、当日の準備はないので、第4試合以降のチームでの撤収とする。